

弥生PAPカンファレンス 2023 春 オンライン配信Q&A集

本Q&A集は2023年7月時点の回答となります。原則、回答は弥生 23 シリーズご利用を前提に回答しています。
 実際にいただいたご質問を「スマート証憑管理」「記帳代行支援サービス」「弥生会計」「弥生販売・Misoca」「その他」分類、抜粋して掲載しています。
 多くのご質問をいただき、ありがとうございました。

SO	ご質問	回答
スマート証憑管理	記帳代行している顧問先が解約になった場合、スマート証憑管理で保存しているデータはどうなるのでしょうか。	解約後も登録済みのデータは検索/ダウンロードが可能です(新規追加は不可)。保存期間は欠損金が発生した際を考慮し、11年2ヶ月となります。
スマート証憑管理	記帳代行顧問先の「スマート証憑管理」の利用について教えてください。	弥生製品をお持ちでない顧問先様につきましては、記帳代行支援サービスをご契約いただき、ライセンスを付与いただくことで、ご利用が可能となります。
スマート証憑管理	電子取引だけでなくスキャナ保存まで対応可能なのでしょうか。	スマート証憑管理では「電子取引のデータ保存」と「スキャナ保存」に対応しております。
スマート証憑管理	記帳代行顧問先の「スマート証憑管理」の利用について教えてください。会計事務所で「記帳代行支援サービス」を契約し、顧問先に記帳代行ライセンスを割り当て、顧問先から資料を入手して会計事務所側でアップロードする場合、AI-OCR機能は利用できますでしょうか。	会計事務所側でアップロードする場合も、AI-OCR機能はご利用いただくことが可能です。
スマート証憑管理	解約後も顧問先はアクセス可能でしょうか。	会計事務所/顧問先双方とも解約後は新規追加はできませんが、登録済のデータを検索/ダウンロードすることは可能です。
スマート証憑管理	顧問先で引き続きスマート証憑管理を使用する場合は、顧問先自身で契約すればデータ引き継ぎ可能でしょうか。	同じ会計データを利用する場合は、契約主体が変わっても継続してご利用いただけます。但し、一般的に記帳代行の顧問契約を解約した場合、会計データを顧問先へ提供することはない認識です。この場合、顧問先が会計データを新規で作成することとなるため、継続して利用することはできません。
スマート証憑管理	記帳代行顧問先の「スマート証憑管理」利用について、詳しい説明を聞きたいのですが、資料はありますか？	下記サイトにて、自計化、記帳代行のそれぞれのケースでの運用パターンやスマート証憑管理の機能紹介等がございます。 https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/service/efficiency/invoice/ もしご不明点等、個別のご説明をご希望の場合は下記、相談会もご検討ください。 https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/about/invoice_soudan.html
スマート証憑管理	証憑種別に無い書類を登録したいのですが、その他もしくは任意の種別の予定はありますか？	受領/発行とも「その他」の区分の追加を予定しております。
スマート証憑管理	スマート証憑管理や記帳代行支援サービスに証憑類をアップロードする際、PDF内は複数枚あっても取込はできますか？	一つの取引に対する複数ページの請求書等をアップロードすることは可能ですが、読み取りにしましては一枚目のみとなります。複数の取引が記載された請求書につきましては、請求書ごとに分けてアップロードする必要があります。
スマート証憑管理	スマート証憑管理は顧問先が弥生会計に契約をしていないと利用できないのでしょうか？	スマート証憑管理は会計事務所側で記帳代行支援サービスをご契約いただき、ライセンス割当等の事前設定を行って頂きますと、弥生製品をお持ちでない顧問先様についてもご利用いただくことが可能となります。
スマート証憑管理	スマート証憑管理で紙の領収書をアップロードする方法はスキャンのみでしょうか？	アップロード以外に2つの方法があります。①スマート証憑管理領域ごとにユニークなメールアドレスを付与しております。このメールアドレスを取引先へ通知いただき、請求書メールの送付先としていただくことで直接、取り込み可能です。②弊社の販売管理ソフト「弥生販売23」「Misoca」で請求書を発行する際、請求書控えを自動保存することができます。
スマート証憑管理	弥生証憑アップローダー→スマート取込で取り込んだ仕訳についてくる付箋の基準を教えてください。	詳細は以下URLをご参考いただければと思います。 https://support.yayoi-kk.co.jp/subcontents.html?page_id=25995
スマート証憑管理	もし顧客が会計期間の途中で別の会計事務所から当会計事務所へ契約を移ってこられたとして、期の初めから契約までの間の証憑データを別のシステムで保管されていた場合、それをスマート証憑管理へ取り込んで一括で管理することはできるのでしょうか？	法令上、真実性の確保が求められており各メーカーは、タイムスタンプや履歴管理(+文書規定)に対応しております。画像ファイルを移行することは容易ですが、タイムスタンプや履歴はメーカーを跨いで移行できないため、残念ながらデータ移行は不可となります。このような状況を改善するために法令が変更されれば対応する予定です。
スマート証憑管理	請求書が複数になる場合はどうしたらよろしいでしょうか？	一つの取引に対して、複数ページの請求書が発行されるという想定で回答いたします。複数ページの請求書につきましては、一つのPDFデータにしていただき、スマート証憑管理へ保管いただく運用を想定しています。
スマート証憑管理	スマート証憑管理は顧問先別で保存は可能なのでしょうか。	顧問先別に領域を付与した上で、保存管理いただくことが可能です。
スマート証憑管理	顧問先で入力に誤りがあった場合、会計事務所側で訂正入力はできますか？	共有設定をしていただいている場合、会計事務所側でも修正作業は可能です。
スマート証憑管理	自計化の顧問先にスマート証憑管理を利用して頂きたいのですが、どのように導入の案内を行えばよろしいでしょうか。ツール等がありましたら教えてください。	顧問先様へのスマート証憑管理のご説明、ご案内につきましては、下記サービスページおよび操作手順動画等ご参考いただけますと幸いです。 ▼スマート証憑管理 https://www.yayoi-kk.co.jp/products/smart/shohyokanri.html ▼スマート証憑管理の使い方（動画マニュアル等） https://pap.yayoi-kk.co.jp/page/shohyoguide01
スマート証憑管理	長期間証憑をアップロードしているとそれなりのデータ容量になるのではないかと思います。追加費用の発生はないのでしょうか？また、保存期間は11年2ヶ月と決まっているのでしょうか？	ご記載の通りデータ容量は増加しますが、ストレージはギガ単位からテラ単位と比較的に性能が向上しておりますので、現在のところ追加費用をいただく予定はございません。また保存期間は期間の定めであり、経過後に削除するかどうかは現時点では未定です。
スマート証憑管理	スマート証憑管理を使用の記帳代行のお客様について、パソコンがなく、スマホやタブレットのみの場合も電帳法に対応していますか？	スマート証憑管理は、Windows、Macのブラウザでのみご利用いただけます。スマートフォンやタブレットでのご利用は推奨しておりませんので予めご了承ください。 https://www.yayoi-kk.co.jp/products/spec/
スマート証憑管理	請求書にはインボイス登録番号が記載あるが、領収書にはない場合、スマート証憑管理ではどのように判断しますか？	インボイス発行事業者は領収書にも登録番号を記載する義務があります。スマート証憑管理では、取引日と登録番号を国税庁APIへ照会し、そのレスポンスで適格/区分記載を判定します。
スマート証憑管理	スマート証憑管理を会計事務所側で操作できる方法はありますか？顧問先から使い方の質問が想定されるので、デモのような形で試せる環境があると助かります。	弥生PAP会員であれば、ご自身の利用できる領域がございます。 詳細につきましては、以下のURLからご確認ください。 https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/lp/shohyokanri/

スマート証憑管理	弥生製品を持っていない顧問先の場合はライセンス割り当てると使用できると記載がありました が顧問先がすでに弥生製品を持っていて保守サポートに加入しているクライアントの場合は 記帳代行ライセンスを割り当てずに会計事務所から確認することは可能なのでしょうか？	顧問先が弥生製品をお持ちで、あんしん保守サポートにご加入いただいている場合は記帳代行ライセンスの割 り当ては必要無く、顧問先は「スマート証憑管理」を利用いただくことができます。 また、会計事務所が顧問先の「スマート証憑管理」をご覧頂くための設定・流れはFAQに詳しく記載がござい ますので、こちらをご覧ください。 https://support.yayoi-kk.co.jp/subcontents.html?page_id=27872
スマート証憑管理	解像度を満たさない領収書はデータ化できないため手入力するしかないのでしょうか。	解像度のチェックは電子帳簿保存法のスキャナ保存を選択した場合のみとなります。また証憑画像が解像度/ 色調の条件を満たしていない場合、警告メッセージが出ますがそのままデータ化依頼することは可能です。税務 監査の際、視認できれば指摘を受けることはないと思いますが、厳密には条件を満たしていないこととなります。
スマート証憑管理	顧客先と共有しなくても、（会計事務所側だけの利用）スマート証憑管理を利用する場合は、 ライセンス の割り当ては必要でしょうか？	スマート証憑管理は顧問先との共有が必須となります。 記帳代行支援サービスでスマート証憑管理をご利用いただく場合、記帳代行ライセンスを割当後、記帳代行 ツール利用に対する顧問先同意を取得することで、会計事務所と顧問先の双方でスマート証憑管理が利用 可能となります。
スマート証憑管理	スマート証憑管理では、1件1件アップロードして、チェックも1件1件していく方法が原則的になるのでし ょうか？ □ （実務的には金額基準等で多少方法をかえるにしても）	ご記載のとおり実務面を考慮すると1件1件の処理は作業効率が悪いため、OCRや仕訳登録など一括処理を 検討中です。また使い勝手も含めて改善を予定しております。
スマート証憑管理	証憑類のスキャンは、スマホの撮影などでも可能でしょうか。	証憑データ化サービスへご依頼いただく画像に関しては、スマホで撮影したのもご利用いただけますが、スキャ ナ保存を実施する際には解像度等の要件を満たしていただくなど、注意点がございます。
スマート証憑管理	過年度の会計資料についても、スマート証憑管理でスキャン保存することはできますか？	スキャン保存は可能ではございますが、法的要件を満たさない可能性が高いので手元資料として保管しておく 必要がございます。
スマート証憑管理	スマート証憑管理では、登録番号も読み取ってくれるという理解でよろしいのでしょうか？	証憑画像に登録番号が記載されており、スマート証憑管理のAI-OCRをご利用いただいた場合は登録番号を 読み取り、登録番号の有効性判定を自動で行います。
スマート証憑管理	スマート証憑管理にアップした請求書等はクラウド上に保存され、検索、閲覧がいつでも可能という認識で 良いですか。また、1ユーザーが利用できる容量の制限等はありませんか。	スマート証憑管理はクラウドサービスとなりますので、ロケーションによらずいつでも検索と閲覧が可能です。また、 ユーザー及び顧問先単位で登録できる証憑数やファイル数に上限は設けておりません。
スマート証憑管理	今後は、スマート取引取込のレシート取込ではなく、スマート証憑管理を利用していくようになるのでし ょうか。それとも、使い勝手によって併用するのでしょうか。	スマート取引取込のレシート取込では、インボイスの法的要件を満たしておりません。 よって、インボイス対応が必要な顧問先（課税事業者）においては、スマート証憑管理を利用していただくこ とを推奨いたします。
スマート証憑管理	スマート証憑管理のAI-OCR機能利用について、有償化の方向性は、いつ頃決定されるご予定でし ょうか。	AI-OCRは自社開発ではなく原価が掛かっているため、有償化の方向性はありますが、お客様の利用状況や 利用意向を確認しながら慎重に検討して参りたいと考えております。
スマート証憑管理	弥生会計で、1つのIDで複数社の管理をしている場合、会社ごとにスマート証憑管理をわける必要があり ます。現機能で可能でしょうか。	ご記載のとおり現在、複数の会計データでスマート証憑管理を利用することはできません。そのため、複数の会 計データでスマート証憑管理の利用をご希望のお客様に対して、個別に利用できるようにするための対応を準 備中です。
スマート証憑管理	顧問先に通常の弥生会計を購入してもらい、弥生ドライブにてデータを共有しています。 今後、スマート証憑管理を使用するためには顧問先に弥生オンラインへの切り替えをしてもらう必要があり ますか。	弥生オンラインへのお切り替えは必要ありません。弥生会計をお持ちであんしん保守サポート契約中であればス mart証憑管理はご利用いただけます。 またスマート取引取込の共有設定をおこなっていただければ顧問先様のスマート証憑管理を会計事務所様で もご覧いただくことが可能です。
スマート証憑管理	スマート証憑管理とスマート取引取込のスキャンデータ取込の棲み分けはどのように想定されていますか。今 後統合される予定はありますか	対応できる証憑に違いがございます。スマート証憑管理の方が、多くの証憑種別へ対応しております。 今後の統合予定につきましては、現時点では未定です。
スマート証憑管理	スマート証憑管理では、見積書や契約書など、直接仕訳に結びつかないような電子取引のデータの管理 もできるのでしょうか。	受領/発行ともに「その他」の証憑種別の追加を検討中です。進捗次第、別途ご案内させていただきます。
スマート証憑管理	紙証憑をスマート証憑管理にスキャン・アップロードを行うのは、スマートフォンのアプリ等からでも可能な のでしょうか？	大変申し訳ございませんが、スマート証憑管理は現時点でスマートフォンアプリには対応しておりません。 今後の開発要望として承ります。
スマート証憑管理	「やよいの見積請求書」はスマート証憑管理の対象製品ではないのですか？この製品を利用している顧問 先はどのような対応が必要になりますか？	「やよいの見積・納品・請求書」をお持ちで、「あんしん保守サポート」にご加入いただければスマート証憑管 理の利用は可能です
スマート証憑管理	スマート証憑管理経由での仕訳取込は記帳代行サービスと同様に費用がかかることとなりますか。また1仕 訳当たりの金額は記帳代行サービスとおなじになりますか。	スマート証憑管理ではAI-OCRをご使用いただいで証憑の読み取りをする場合にのみ料金が発生します。ただ しAI-OCRは、当面の間、無料提供を予定しております。一定の利用枚数を超える場合には別途課金が発 生する等の変更を行う可能性がございますが金額も含め詳細は未定です。変更の場合は確定次第、ご案内 いたします。
スマート証憑管理	部門別会計を採用している場合、証憑管理の段階で部門指定してその後仕訳連携するという発想はな いのですか？	現在、スマート証憑管理で部門を設定できませんが仕訳の情報としては必要と認識しております。ご要望として 承り検討させていただきます。
スマート証憑管理	受領証憑のアップロードは複数枚まとめて1ファイルでアップロードできますか？	複数枚まとめて可能ですが、一つの取引に関連する証憑である必要はございます。
スマート証憑管理	仕訳連携設定のA I 推論は、スマート取引取込のデータなども参考にしているのでしょうか？	スマート証憑管理から仕訳登録する際の推論の仕組みはスマート取引取込のエンジンを利用しております。つ きましてご質問に対しては、参考ではなく、スマート取引取込そのものと同じとなります。
スマート証憑管理	追加でアップロードして仕訳取込したとき、すでに取込・修正済みの仕訳は上書きされるのでしょうか。	既に登録済の仕訳は上書きされません。弥生会計で仕訳を直接、修正いただくか、削除してから再度、仕訳 登録いただく形となります。
スマート証憑管理	AI-OCRの精度について教えてください。手書き証憑など取込み対象となる証憑の形式に制約はあり ますか。	証憑パターン（レイアウト）により精度は前後いたします。頻出する証憑パターンでしたら高い精度で読み取る ことが可能です。学習により継続的な精度向上に努めておりますので、是非ご試用いただけましたらと存じます。 手書きは領収書、請求書、見積書、納品書で対応しているものの、文字の可読性により精度が低下する可 能性がございます。
スマート証憑管理	スマート証憑管理の設定で連携する事業所データで選択できる事業所は、どこの設定から引用している のでしょうか。	作成される事業所データには、作成したユーザーの属性情報が含まれており、その情報を元に利用されているス mart証憑管理の領域に候補となる事業所データを表示するような仕組みです。

スマート証憑管理	紙証憑をスキャンするのに時間がかかると思いますが、効率的にスキャンできるスキャナー、スマート証憑管理にアップロードするのに便利なスキャナーというのがありますか。	スマート証憑管理にアップロードいただく際に、特定機種などの便利なスキャナーはございません。一般的な回答にはなってしまいますが、スキャンする紙証憑が大量にある場合には、平置き連続給紙可能なスキャナをご利用いただくのがよろしいかと思ます。
スマート証憑管理	紙証憑のスキャンは、アプリやスマホでの簡単なアップロードはできますでしょうか？	現時点ではアプリやスマホからのアップロードには対応しておりませんが検討を進めております。
スマート証憑管理	領収証のPDF化は1枚ずつでは無ければダメなんでしょうか？	1ファイルにつき、1枚というデータ化が必要となります。
スマート証憑管理	弥生会計のスマート取引取込にて証憑を取り込んだ場合のインボイス番号の国税庁との連携確認はとれるのでしょうか。	スマート証憑管理では国税庁APIをコールし、登録番号と日付をもとに適格か否かを判定します。
スマート証憑管理	電子メールに直接記載されている請求書等を簡単にアップロードする方法はありますか？	電子メールに請求書がファイル添付されている場合は、受信メールアドレスへ送付いただくよう取引先へご案内いただくことで、アップロード作業を省略できます。Eメール文面に直接、請求内容がテキストで記載されている場合は、画面キャプチャなどの作業が別途、必要となります。
スマート証憑管理	自計化顧問先側で全てインボイス対応や電子帳簿対応をしてもらう場合、顧問先の証憑類を税理士事務所で確認するにはどうすればよいですか？	自計化顧問先のスマート証憑管理領域を会計事務所と共有する機能をリリースしています。弥生ドライブとは別に共有設定が必要となります。
スマート証憑管理	タイムスタンプ付与は将来においても対応予定なんでしょうか？	現時点ではタイムスタンプ付与の予定はございません。ただし、ファイルをアップロード・訂正（差替え）・削除した日時やユーザーの情報を保持しているため、電子帳簿保存法第7条（電子取引）および第4条3項（スキャナ保存）で求められる要件を満たしています。
スマート証憑管理	記帳代行の顧問先がスマート証憑管理を利用する場合、顧問先は証憑のアップロードのみ行い、確認作業は、会計事務所ということも可能でしょうか？	はい、そのような運用方法も可能です。
スマート証憑管理	スマホでレシートを撮ってスマート証憑管理に取込専用メールで添付してもらうのとスマホアプリでレシート取込でアップロードするの、どのように区別して利用するのでしょうか？	電帳法対応においては、どちらの方法でも対応は可能です。顧問先、事務所において作業効率のよい方法でご利用いただくのが良いかと思ます。
スマート証憑管理	画像ファイル等を多く扱っていくことになると思いますが、PC上での処理が重くなるといった問題は生じないですか？	スマート証憑管理へアップロードした画像データはクラウド上に保存されますので、お使いのPCでの処理が重くなったりということはありません。
スマート証憑管理	スマート証憑管理は弥生製品を利用している自計化先であれば無料で利用できるということで良いのでしょうか？	デスクトップ製品ではあんしん保守サポートへのご加入、オンライン製品のご契約をいただくことで追加費用なくご利用が可能です。
スマート証憑管理	スマート証憑管理にアップロードした電子取引やスキャン証憑は、捨ててしまってもよいですね？何か留意する点等がありましたら合わせて教えてください。	スキャナ保存を利用する際は、スキャン時の解像度と色調にご注意ください。条件を満たしていない画像をスマート証憑管理へアップロードした場合、警告メッセージが出ますがそのまま保存することも可能です。また複合機でスキャンする場合、白黒の証憑は白黒でスキャンしがちになりますので合わせてご注意ください。
スマート証憑管理	スキャナ保存の入力期間の制限には対応されますか？	運用上、遵守いただく前提です。アップロードへ制限を設けるようなことは検討しておりません。
スマート証憑管理	どのようにすれば候補として表示するようになるのか具体的に教えていただけたらありがたいです。	下記に具体的な操作方法のマニュアルがございます。 もし、ご参照いただいてもご不明な場合は、弊社カスタマーセンターへお問い合わせください。 https://support.yayoi-kk.co.jp/subcontents.html?page_id=27620
スマート証憑管理	スマート証憑管理でデータをアップロードしてインボイスの判定等をした場合、1データにつきいくらかいった費用がかかるのでしょうか？	インボイス判定自体には利用料金は発生いたしません。スマート証憑管理ではAI-OCRをご使用いただいで証憑の読み取りをする場合に料金が発生します。ただしAI-OCRは、当面の間、無料提供を予定しております。一定の利用枚数を超える場合には別途課金が発生する等の変更を行う可能性がございますが金額も含め詳細は未定です。変更の場合は確定次第、ご案内いたします。
スマート証憑管理	国税庁に登録番号検索はスキャンや金融機関等から取り込んだものは、人がいちいち検索ボタンを押さなくても取り込みと同時に自動検索できますか？	AI-OCRで読み取ることが出来れば、自動的に適格事業者判定を行います。
スマート証憑管理	自計化顧問先でスマート証憑管理を利用する場合、仕訳も生成してくれるのですか？	弥生の会計製品をご利用中であんしん保守サポートご加入中の顧問先であれば仕訳の自動作成も可能ですでございます。
スマート証憑管理	スマート証憑管理へのスキャンアップロードの方法は、記帳代行支援サービスの証憑アップロードサービスのスキャンアップロードの方法と同じでしょうか？	アップロード方法が異なります。記帳代行支援サービスでは証憑アップローダーをご利用いただけますが、スマート証憑管理ではスマート証憑管理のアップロードメニューで行います。スマート証憑管理のスキャナ連携は、大変恐縮ですが時期未定となります。
スマート証憑管理	スマート証憑管理はクラウドに保存されるとのことですが、データ容量の上限はありますか？仮に上限がある場合、追加料金を支払えば、容量を拡大することはできるのでしょうか。	クラウド保存のデータ容量に上限はありませんのでご安心ください。
スマート証憑管理	証憑種別を領収書にして画像をアップロードした場合、オペレーターが仕訳入力されるとのことですが、現金払いやカード払い、電子マネー等の支払い区分ごとに勘定科目を判断して入力されるのでしょうか？（貸方現金、未払金等）	スマート証憑管理は、AI-OCRでのデータ化にのみ対応しております。証憑データ化サービスは、オペレーターが証憑から日付/金額/取引先の取引情報を入力します。勘定科目についてはアップロード時に自分方を指定いただく必要がございます。何れの場合もスマート取引取込に連携され、自動仕訳機能により取引先から相手方の勘定科目を自動判定いたします。なお、勘定科目の自動判定は推論と学習（前回修正の学習）がでございます。
スマート証憑管理	証憑データ化サービスを利用した証憑は顧問先のスマート証憑管理に自動保存されるようになっているのでしょうか？ 確認方法などマニュアルなどの所在を教えてくださいませんか？	確認方法を記載したFAQをご案内いたしますので、お手数をおかけいたしますが以下よりご確認ください。 確認方法はこちら https://support.yayoi-kk.co.jp/subcontents.html?page_id=27871 スマート証憑管理の設定や起動方法はこちら https://support.yayoi-kk.co.jp/subcontents.html?page_id=27872
スマート証憑管理	電帳法対応で事務処理規定が必要とは検索機能等がないということでしょうか？	検索機能はございます。弊社ではお客様が将来的にシステムリプレースを検討する際にハードルとなる可能性があるためタイムスタンプではなく修正/削除履歴を残すようにしております。この場合、事務所処理規定が必要となりますが、サンプルも公開しておりますので合わせてご参考ください。 https://www.yayoi-kk.co.jp/kaiketsu/denshichobo/denshitorihiki/
スマート証憑管理	タイムスタンプには対応していますでしょうか？	タイムスタンプは付与されません。ただし、ファイルをアップロード・訂正（差替え）・削除した日時やユーザーの情報を保持しているため、電子帳簿保存法第7条（電子取引）および第4条3項（スキャナ保存）で求められる要件を満たしています。
記帳代行支援サービス	一般販管費に入るレシート、領収書などはそれらに適格請求書Noが無いものや既定の情報が無いものは全て、「請求書区分＝区分記載2」の方になるという事ですか？（企業名などでの判断は出来ないう事ですか？） 仮と、カード利用明細では、その摘要欄などだけでは詳細が不明なものが多いと思いますが、1行ごとの請求区分は全て「請求書区分＝区分記載2」の方になるという事でしょうか？	ご記載のとおり登録番号の記載がない、取引日時点で登録が有効でない場合は区分記載となります。企業名の場合、重複があり得る（特に個人事業主）ため、自動判定は難しいと思ます。カード明細を取り込んだ際は、勘定科目に設定されている請求書区分のデフォルト値(変更しない限り適格)が設定されます。そのため領収書を参照し、別途、確認/更新する必要があります。
記帳代行支援サービス	記帳代行支援サービスの取込のみの利用でインボイス判定はできますか？	「記帳代行支援サービス」の「証憑データ化サービス」にインボイス判定の仕組みを搭載しています。証憑に印字されている登録番号をオペレーターがデータ化、スマート取引取込で登録番号の実在性・有効性を判定して、「請求書区分」の自動判定を行います。 詳しくは以下インフォメーションをご覧ください。 https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/member/info/partner-20230612-1.html

記帳代行支援サービス	記帳代行支援サービスの一仕事当たりの単価は、インボイス制度開始後に値上げが予定されているのでしょうか？	登録番号を手入力しますので、作業は増えますが現在のところ値上げする予定はございません。
記帳代行支援サービス	顧問先からメールでPDFの証憑データを頂いた場合、記帳代行サービスに直接アップロードすることはできますでしょうか？	スマート証憑管理領域ごとにユニークなメールアドレスを付与しております。顧問先様へこのメールアドレスへ送付いただくように運用を変更いただければ直接、取り込むことができます。また顧問先様が直接、スマート証憑管理へアップロードすることも可能ですので、どのような運用が最適かご検討いただけますと幸いです。
記帳代行支援サービス	記帳代行支援サービスに登録している顧問先へのスマート証憑管理のライセンスの付与はどこでできますか？	記帳代行支援サービスのライセンス割当、記帳代行用ツールの利用依頼/承諾を行っていただく必要がございます。 詳細の手順はFAQをご覧ください。 https://support.yayoi-kk.co.jp/subcontents.html?page_id=27872 ↑顧問先との連携設定→顧問先が弥生会計製品を使用していない場合（記帳代行支援サービスの対象顧問先のみ）
記帳代行支援サービス	記帳代行支援サービスを利用しないで、顧問先から資料を今まで通り送っていただき、こちらでスマート証憑管理にアップデートしてこちらで仕訳化する、という運用方法が可能とのことですが、具体的な方法はどこに掲載されていますでしょうか？また、顧問先別で管理する方法も教えていただきたいです。	スマート証憑管理へ証憑のアップロードから仕訳連携までの手順は、下記サイトに詳細な手順が記載されておりますので、ご参考にしていただけますと幸いです。 ▼スマート証憑管理の使い方（動画マニュアル等） https://pap.yayoi-kk.co.jp/page/shohyoguide01 顧問先様別に管理を行う場合、記帳代行支援サービスをご契約いただき、顧問先様ごとにライセンスを割り当ていただくか、顧問先様に弥生会計をご導入いただき、共有設定をいただくかのどちらかを選択いただき、ご利用いただく必要がございます。
記帳代行支援サービス	先ほどの事務所経営へのインパクト（ケース1とケース2）のご説明で、ケース1では入力代行費用がからないのはなぜですか？	ケース1の場合、従量課金となる証憑データ化サービスを利用しない運用方法をご提示しております。
記帳代行支援サービス	弥生製品をお持ちでない顧問先には、会計事務所から「記帳代行支援サービス」を用いてライセンスを割り当て「スマート証憑管理」を利用してもらうことを想定しております。その際に、顧問先でアップされた請求書等の証憑を弥生会計へ仕訳として取込には別途利用料が発生しますが。	記帳代行支援サービスの記帳代行ライセンスでスマート証憑管理をご利用いただく場合は追加での料金は発生いたしません。なお、スマート証憑管理のAI-OCRは当面の間、無料提供を予定しているものの、一定の利用枚数を超える場合には別途課金が発生する等の変更を行う可能性がございます。金額も含め詳細は未定です。変更の場合は確定次第、ご案内いたします。
記帳代行支援サービス	記帳代行サービスの受注が集中し、御社側の人員不足やサービス低下の懸念はないのでしょうか？	需要に対する供給体制の構築には万全を期しております。弥生PAP会員向け利用意向アンケート調査などで精度を高める活動を行っておりますので安心してご利用いただければと思います。
記帳代行支援サービス	記帳代行を受けている関与先で、証憑等を関与先にスキャンアップロードして頂く方向で考えてますが、ライセンス割当てをすれば、弥生製品を持ってなくても利用可能でしょうか？その場合の関与先のコストを教えてください。	記帳代行支援サービスをご契約いただき、ライセンス割当てを頂きますと、弥生製品をお持ちでない顧問先様についてもご利用いただくことが可能となります。ただし、弊社からの利用料金のご請求については記帳代行支援サービスをご契約いただいている会計事務所様へとなりますので、弊社から顧問先様へ直接ご請求が発生することはございません。
記帳代行支援サービス	記帳代行を会計事務所ですべて行う場合は、証憑管理の利用料は不要と考えていいのでしょうか？	スマート証憑管理を顧問先様へご利用いただくかどうかで、料金の発生が異なります。顧問先様にスマート証憑管理をご利用させる場合は、記帳代行支援サービスの基本料金と追加ライセンス費用が発生いたします。
記帳代行支援サービス	セカンドオピニオンで顧問契約しているところが数件あります。メインの税理士がPAP会員、そうでない場合、いずれの場合でも当事務所で記帳代行サービスを申し込むことができますか？	貴事務所にて対象となるお客様の事業所データをお持ちで、記帳代行支援サービスをご契約いただければ、ご利用いただくことは可能です。
記帳代行支援サービス	IT導入補助金ですが、今回の記帳代行支援サービスを利用すること、どのようにつなげて適用できるのでしょうか？	「記帳代行支援サービス」2年間の基本利用料240,000円をIT導入補助金のご利用で3/4キャッシュバック（実質75%OFF）実質負担額60,000円で利用いただくことが可能となります。 特設ページにて詳細をご紹介しますのでこちらもご覧ください。 https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/lp/kichodaiko/ithojo.html ※もしご期待の回答では無い場合、お手数ですが追加のご質問をお願いいたします。
記帳代行支援サービス	マンション棟貸（賃借人10名程度）の1か月の支出明細書の入力があります。例えばAさん10万円Bさん12万円Cさん9万だが退去清算Dさん入居 敷金預り管理費、修繕費預りのような明細も記帳代行してもらえるのでしょうか？	ご質問の明細に関しては現在対応しておりません。
記帳代行支援サービス	また、電子取引のデータの保存についてですが、例えば弊社の顧問先と契約が切れることとなりスマート証憑管理も変更となった場合、データの引継ぎ等は可能でしょうか。	記帳代行支援サービスの記帳代行ライセンスで顧問先様がスマート証憑管理をご利用いただいている場合、記帳代行ライセンスを解除されると顧問先様は証憑を参照できなくなります。データの引継ぎ機能はご用意していない為、スマート証憑管理から証憑と取引データをダウンロードして頂く必要がございます。なお今後の機能拡張として、記帳代行ライセンスを解除しても顧問先様が証憑を参照できる機能を追加予定でございます。
記帳代行支援サービス	記帳代行でスマート証憑管理を利用する場合、追加ライセンスが900円とのことですが、顧問先にやよいの給与明細オンラインを契約してもらったら1件当たり年間5400円で使えるのでしょうか？	ご認識の通り、顧問先様が弥生オンライン製品をご契約されればスマート証憑管理をご利用可能です。記帳代行支援サービスの場合は、スマート証憑管理だけでなく、口座連携等の連携ツールや証憑データ化サービスをセットでご提供しておりますので、記帳代行の業務をさらに効率化できるセットとなっております。
記帳代行支援サービス	記帳代行支援サービスでスキャナ保存要件満たしていない証憑は、現状ではどれくらいの割合でしょうか？ケース2の場合に、電子取引をメールでもらった部分のオペレーションはどうなりますか？	申し訳ございません。スキャナ保存の要件を満たしていない証憑の割合は現時点で把握できておりません。電子データをメールで受信した場合は紙証憑のスキャンが不要となり、そのまま証憑データ化サービスへアップロードいただけます。
記帳代行支援サービス	記帳代行の際に、証憑データ化サービスを通さずに会計事務所にてスマート証憑管理を利用することはできないのでしょうか？	記帳代行支援サービスでスマート証憑管理のみをご利用いただくことも可能です。この場合、記帳代行ライセンスを割当後、記帳代行ツール利用に対する顧問先同意を取得することでスマート証憑管理が利用可能となります。
記帳代行支援サービス	記帳代行支援サービスは契約するとして、記帳代行支援サービスを通さずに証憑保存の機能だけを利用することは可能か？	記帳代行支援サービスで証憑データ化サービスを利用せず、スマート証憑管理のみをご利用いただくことも可能です。この場合、記帳代行ライセンスを割当後、記帳代行ツール利用に対する顧問先同意を取得することでスマート証憑管理が利用可能となります。
記帳代行支援サービス	記帳代行のデモンストレーションで電帳法種別のブルダウンの内容は、スキャナ保存と、それ以外の2つだったでしょうか。	①対象外②電子取引③スキャナ保存の3種類でございます。
記帳代行支援サービス	記帳代行支援サービスと証憑データ化サービスでは、オペレーションの違いは何ですか？	「記帳代行支援サービス」は、サービスの総称であり、その中の入力代行を承るサービスを「証憑データ化サービス」と呼称しております。 https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/member/service/efficiency/kichodaiko/
記帳代行支援サービス	自計化している顧問先が証憑データ化サービスを直接利用することはできますか？	「証憑データ化サービス」は会計事務所様向けのサービスですので、顧問先様が直接ご利用いただくことはできません。

記帳代行支援サービス	証憑のアップロード後仕訳登録を、弥生側に依頼しない方法の選択もできますか？	証憑データ化サービスにアップロードいただく証憑につきましては、全て弥生でのデータ入力対象となります。データ入力を希望されない場合はスマート証憑管理からのアップロードをご利用ください。
記帳代行支援サービス	顧問先は弥生販売を所有（あしん保守加入中）自計化しておらず、会計事務所の弥生会計で記帳代行の状況で、顧問先のスマート証憑管理サービスのデータを会計事務所が見る方法はありますか	記帳代行支援サービスをご契約いただき、記帳代行ライセンス割り当て、および記帳代行用ツールの弥生利用依頼/承諾の手続きをしていただければ、顧問先のスマート証憑管理のデータを会計事務所が見ることが可能です。また仕訳の登録も可能となります。操作方法の詳細は以下URLの「 2. 記帳代行顧問先も『スマート証憑管理』の利用が可能に」をご確認ください。 https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/member/info/partner-20230612-1.html
弥生会計	結局税務調査の際にどのように証憑を保存しているか、提示できるかが問題になると考えております。まず総勘定元帳の提出は必須になるのですが、そこが対応されていないということは結局紙の総勘定元帳を用意することを想定されているのでしょうか？さきほど税務署と相談してくださいと言われましたが、その想定は全く考えられていないのでしょうか？	顧問先様が弥生会計をお持ちでない場合、総勘定元帳は紙で印刷の上、保管いただくことになるかと思えます。その上で、電子取引の証憑についてはスマート証憑管理等で管理いただくことを想定しており、スマート証憑管理においては電帳法における検索要件等を満たしている為、該当する仕訳の証憑を検索いただいて提示することを想定しております。
弥生会計	税務調査の際にはPCに入った弥生会計をそのまま見ていただくということでもよろしいでしょうか？税務調査時の専用の入り口のようなものはないですか？	特に専用のインターフェース等は設けておりません。調査方法に関しては税務署へご相談ください。
弥生会計	弥生会計では所得税、法人税、相続税などの電子申告(税理士の代理送信含む)はできるでしょうか？	所得税の確定申告のみ対応しています。（電子申告は本人送信のみ。代理送信は対応していません。）法人税については決算書の作成は可能ですが、弥生会計単独では確定申告できないため、NTTデータの達人シリーズ等と連動して確定申告をしていただく流れとなります。相続税に関しては対応しておりません。
弥生会計	法人税の電子申告にあたり、弥生会計で決算書の個別注記表が変換されないのでしょうか？	個別注記表は電子申告に対応する拡張子（.xtx、XBRL）への変換には対応しておりません。提出が必要な場合は連携先のソフトウェアにて追加していただくか、別途書面で提出をお願いいたします。
弥生会計	勘定奉行i11のオンプレミス環境を使用しています。弥生会計に載せ替えるためのサポート等がありますでしょうか。	サポートできる内容には限りがございますが、他社様からの乗り換えについてはご相談を承ります。個別の内容に関しては弊社カスタマーセンターへご相談ください。
弥生会計	弥生会計と相性のよいシステムをおしえてください。	弥生会計と連携できるポスレジを以下ページでご紹介しております。 https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/member/service/efficiency/smart-pos.html 特段相性の良し悪しはございませんので掲載されているポスレジであれば連携可能です。
弥生会計	スマート取引取込を利用しているのですが、既に弥生会計で登録している仕訳(証憑無し)に、後から証憑のみを登録することは可能でしょうか。また、一つの仕訳に複数枚の証憑をつけることは可能でしょうか。	ご記載の機能は多くのご要望を頂戴しており現在、検討中です。進捗次第、別途ご案内させていただきます。
弥生会計	違いを教えてください。1.弥生ドライブ 2.弥生マイポータル、3.弥生会計 23	「弥生ドライブ」は会計データの共有にご利用いただけます。 「弥生会計23」はスマート証憑管理から仕訳送信された証憑の参照にご利用いただけます。仕訳と紐づく証憑を弥生会計から直接参照することが可能です。 「弥生マイポータル（Web）」は顧問先のスマート証憑管理データにアクセスする際にご利用いただけます。
弥生会計	弥生会計で今年の9月ごろまでに追加でリリースされる予定の機能はありますか？	インボイス制度の少額特例へ対応予定です。その他にもスマート証憑管理を起動するメニューの追加など、細かな改善を実施予定です。
弥生会計	すべての損益科目に取引先の補助科目を設定して適格事業者かどうか入力する想定なのでしょうか？	インボイス発行事業者として登録することも取消することも可能なため、取引先単位でなく、取引単位で登録番号をチェックすることが望ましいと考えております。また電子帳簿保存法の電子取引への対応も必要なため、現状の業務運用をスマート証憑管理を利用するフローへ変更をお願いしますが弊社のご提案となります。
弥生会計	弥生会計インストール版で作成したデータを、弥生オンラインに変換することは可能ですか？	大変申し訳ございませんが、デスクトップアプリの弥生会計のデータを弥生会計オンラインへ変換することはできません。ただ、デスクトップアプリの弥生会計よりエクスポートした取引データや期首残高データを弥生会計オンラインへインポートすることは可能です。操作方法の詳細については以下URLよりご確認ください。 https://support.yayoi-kk.co.jp/subcontents.html?page_id=27148&grade_id=Kaikai
弥生会計	口座連携サービスやカード連携した際、適格事業者の判定、インボイス要件の判定はできるでしょうか。	銀行取引の情報やクレジットカード明細には、インボイスに関する情報が付与されていないことが一般的となりますので、その情報単体での判定は難しいかと思われます。該当取引の証憑を照らし合わせ、確認いただくことになるかと思えます。
弥生会計	弥生会計で先に仕訳入力したものに、証憑アップローダーへアップロードした請求書を後から紐づけることは可能でしょうか。	現在はできませんが仕訳入力したものに後から証憑画像を紐付け登録できる機能を検討中です。
弥生販売・Misoca	弥生販売とMisocaの違いを教えてください。	弥生販売はインストールしてご利用いただく製品となっており、販売管理や仕入・在庫管理等ができるデスクトップソフトです。製品グレードにより利用いただける機能が異なりますので詳しくは製品ページをご覧ください。 https://www.yayoi-kk.co.jp/hambai/ Misocaは請求書・見積書・納品書を発行するクラウドソフトです。インストールが不要であること、締請求に対応していない点が弥生販売との大きな違いとなります。こちらも詳しくは製品ページをご覧ください。 https://www.yayoi-kk.co.jp/seikyusho/
弥生販売・Misoca	弥生販売で仕入を入力後、会計データを転送しているのですが、スキャンナップで取り込んだデータを弥生会計のように取り込む事はできますか？弥生会計のみでしょうか？	弥生販売へはスキャンナップで取り込んだデータを取り込むことはできません。弥生会計のみとなります。
弥生販売・Misoca	現在、インボイス番号を弥生販売で登録すると、取引先の確認ができる状態です。今後これが仕入伝票、請求書区分、弥生会計への影響等、変更されていくのでしょうか。	弥生販売での取引先情報については、弥生会計に直接連携するものではございません。弥生販売で作成されて伝票等の仕訳された情報に請求書区分等の情報を連携する仕組みとなっております。今後、仕様変更等ある際は決まり次第、ご案内いたします。
弥生販売・Misoca	顧問先は弥生販売を所有していますが、安心保守サービスは契約していません。販売にのみ使用し仕入管理には使用していませんが、請求インボイスに関する電子帳簿保存法に対応しているのでしょうか。	電帳法の4条2項については、製品のみで対応することは可能ですが、インボイス対応においては、最新バージョンでのご利用を推奨しております。また、インボイスに関連する機能につきましても、都度追加しておりますので、保守サポートへのご加入を推奨しております。
弥生販売・Misoca	弥生販売で登録されたインボイス番号について、弥生会計へ仕訳転送した場合、弥生会計に反映されるのでしょうか。	インボイス番号は仕訳情報としては反映されません。
その他	税理士事務所もデジタルインボイスを発行したいがどうしたらよいでしょうか？	「スマート証憑管理」「弥生販売」「Misoca」でデジタルインボイスへの対応を予定しております。弥生PAP会員は、パートナー版を無料(ライセンス追加は有償)で利用可能です。
その他	事務所で記帳代行をする際は、専用のスキャナが必要ですか？	特に専用のスキャナは必要ございません。御社の利用用途にマッチしたものをご利用いただければ大丈夫ですが、他の事務所様でよくご利用いただいているのが、下記URLに掲載のスキャナがございます。 https://www.pfu.ricoh.com/scansnap/products/ix1600/
その他	弥生オンラインにて口座残高を確認しながら通帳入力する預金出納帳機能はございますか？	弥生会計オンライン上で、口座残高等を確認できる機能がないため、記載されているような運用はできません。一方で、顧問先様がインターネットバンキング等をご利用されている場合は、自動口座連携機能のご活用できるかと思えます。

その他	他社ではスキャンナップの割引コードを提供したりしていますが、そのようなサービスはありますか？また、推奨のスキナがあれば教えてください。	弊社でもスキャンナップの割引コードがございます。ご希望の場合は、カスタマーセンターまでお問い合わせください。特定の推奨スキナはございませんが、スキャンナップシリーズやコダック社製のスキナをご利用いただいている弥生PAP会員様が多い状況です。
その他	必要なPCのスペックについて伺います。スマート証憑管理をストレスなく操作するにはいわゆる何世代のCPUが必要ですか。セカンドディスプレイがあった方がサクサクできるのでしょうか？	クラウドサービスにおける弊社で推奨している必要スペックは下記に記載のある通りとなりますが、PCのスペック以外にも通信環境にも依存するようになります。セカンドディスプレイについては、作業効率化の観点からは利用された方が良いかと思いますが、必ずしも必要というわけではありません。 https://www.yayoi-kk.co.jp/products/spec/index-01/#1-18
その他	弥生レシート取込アプリを使用した場合も、スマート証憑管理に反映されるのでしょうか？また、弥生レシート取込アプリで撮影した領収書も電帳法に対応しているとみなされるのでしょうか？	弥生レシート取込アプリで取り込んだ証憑はスマート証憑管理には連携いたしません。スマート取引取込の画面でご確認をお願いいたします。 弥生レシート取込アプリも電帳法に対応しております。但し、対応証憑がレシートに限定される為、ご注意ください。